

# 富岡市庁舎市民検討委員会中間報告書

「富岡市庁舎市民検討委員会」は、新庁舎建設の是非を含む、今後の新たな市庁舎のあり方について、市民の立場から総合的に協議・検討すべく、昨年8月、市議会、妙義町地域審議会、各種団体からの推薦者、公募市民、学識経験者からなる20名の委員により発足いたしました。

委員会では、現在の庁舎や行政機構の抱える問題点を共有しながら、富岡市のまちづくりや行政サービスの進むべき方向性などから、市庁舎の今後のあり方について真剣に協議・検討を重ねてまいりました。その結果、第7回委員会において、新庁舎建設の是非と市庁舎の位置に関して本委員会の見解がまとまりました。まだ、市庁舎のあり方や具体的整備方針については継続検討中ですが、これまでの検討結果を中間報告いたします。

平成23年6月

富岡市庁舎市民検討委員会

委員長 戸所 隆

## 1 新庁舎建設の是非について

**新築による庁舎整備が望ましい。**

富岡市の行政の中心となっている富岡・南・北庁舎は、いずれも築40年以上が経過し、建物や設備の老朽化が進んでいます。そのため、地震に対する脆弱性が懸念され、市民サービスにも支障をきたしているなど多くの課題を抱えています。

これらの課題を解決するための庁舎の整備方法として、現庁舎の改修、廃業となった既存民間施設の活用、新庁舎の建設について検討を行いました。

改修や代替物件では課題解決が困難であること、費用面においても建設コストだけでなく耐久性など将来コストも含めて推定すると新築の方が有利と考えられることなどから、新庁舎を建設し、現状の課題を解決し、市民サービスの向上に努めるべきとの結論に至りました。

## 2 市庁舎の位置について

**富岡市富岡1460番地1及びその隣接地が望ましい。**

市庁舎の位置については、最終的には、廃業となった既存民間施設、旧大成ポリマ